

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

➤ 来週の日経平均予想

4 月 SQ1 週間前の値は 27,518.31 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「4 月 SQ1 週間前の値は、4 月 SQ2 週間前の値 (28,041.48 円) よりも高くなる」でしたので、今回はデータが外れました。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
1月27日	27,382.56(終値)	高くなる	2月3日	27,509.46(終値)	○	1.005
2月3日	27,509.46(終値)	安くなる	2月10日	27,779.75(SQ値)	×	1.010
2月10日	27,779.75(SQ値)	高くなる	2月17日	27,513.13(終値)	×	0.990
2月17日	27,513.13(終値)	高くなる	2月24日	27,453.48(終値)	×	0.998
2月24日	27,453.48(終値)	安くなる	3月3日	27,927.47(終値)	×	1.017
3月3日	27,927.47(終値)	安くなる	3月10日	28,377.34(SQ値)	×	1.016
3月10日	28,377.34(SQ値)	高くなる	3月17日	27,333.79(終値)	×	0.963
3月17日	27,333.79(終値)	高くなる	3月24日	27,385.25(終値)	○	0.963
3月24日	27,385.25(終値)	高くなる	3月31日	28,041.48(終値)	○	0.963
3月31日	28,041.48(終値)	高くなる	4月7日	27,518.31(終値)	×	0.963
4月7日	27,518.31(終値)	安くなる	4月14日	?		

(独自作成)

次に来週の予想です。

4 月 SQ までの 1 週間が上昇したパターンは 28 回中 16 回あります (①)。

次に、4 月 SQ1 週間前までの 1 週間が下落したパターンは 11 回あります。そのうち 6 回は 1 週間後の SQ 値の方が安くなっています (②)。

4 月 SQ1 週間前の時点で 3 月 SQ 値より安いパターンは 9 回あります。そのうち 1 週間後の SQ 値の方が安いというのが 6 回あります。(③)

①、②、③より「4 月 SQ 値は、4 月 SQ1 週間前の値 (27,518.31 円) よりも安くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

➤ 外国人の売買動向 (資料：外国人の売買代金、信用残の推移)

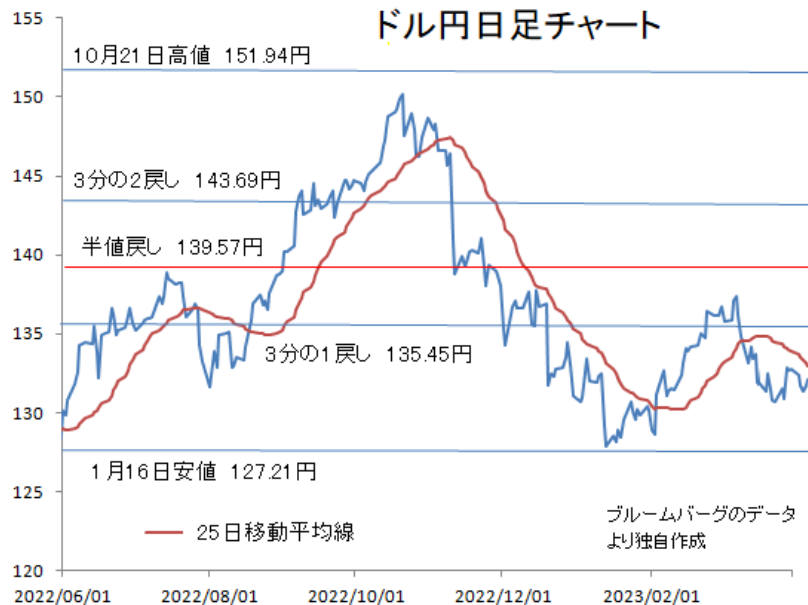
3 月第 5 週の外国人は 70 億円の買い越しでした。この週は日経平均が 656 円高と大幅高でしたが、外国人の買い越しはわずかでした。なお買い越しは 6 週間ぶりです。

次にドル円相場です。今週は米国の雇用関連指数の悪化を受け、130 円台まで円高に振れましたが、逆に週末発表された雇用統計が堅調な結果となったため、次回の FOMC で利上げの可能性が出てきました。その結果ドル円は 132 円まで戻っています。ただ週間では円高方向に進んでいます。



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会



またドル建て日経平均は、為替が円高に振れていますが、円建ての日経平均が 500 円以上下落したので、トータルで約 1% の下落（円建ては 1.9%）となっています。この結果、再度 25 日移動平均線に近づいてきました。ただ 25 日線も上向きですので、このあたりで反発する可能性があります。円建てで変化が出てきましたので、ひょっとすると下落トレンドに入ってきた可能性もあり、来週の動きは注目です。



次に世界のマーケットですが、上海総合指数は 1.7%、NY ダウは 0.6% 上昇した半面、ドイツ DAX 指数は 0.2% 下落、さらに日経平均は 1.9% 近い下落とマチマチでした。

特に上海総合指数は 4 週連続高となり、MSCI 中国指数も四半期としては過去 2 年で最高の上昇率となっています。（帰国すれば拘束されると言われていた）アリババのジャック・マー



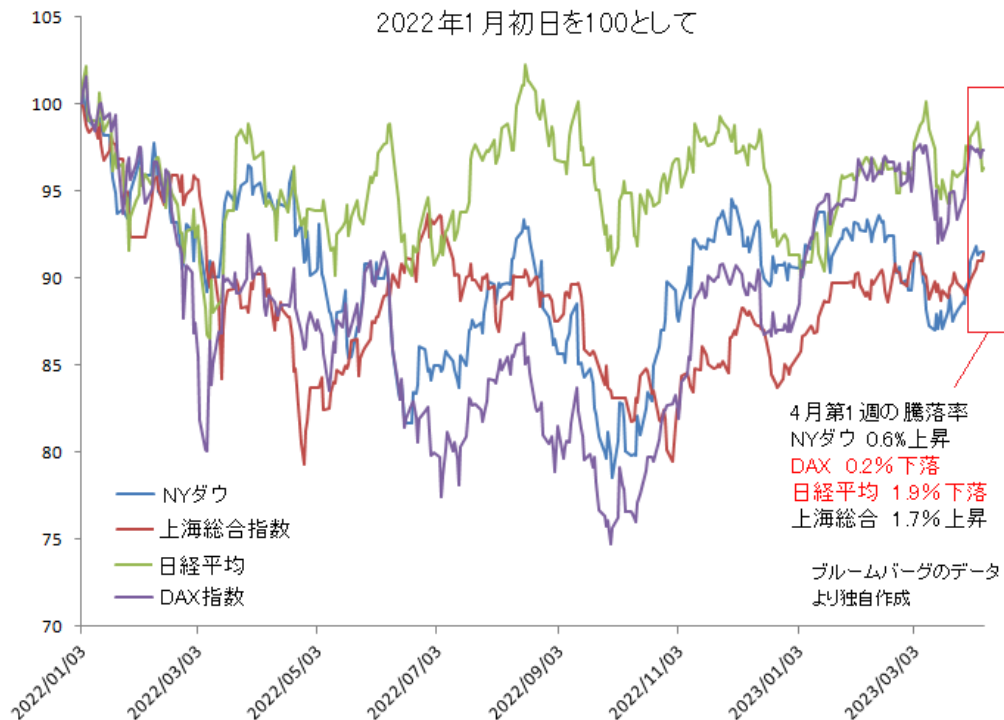
ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

氏の帰国により、中国政府の IT 企業への規制が緩和されるとの見方もあります。またイランとサウジの外交関係の正常化が、中国の仲介で合意したり、仏マクロン大統領が訪中したりと、世界情勢における中国の影響力が徐々に強まってきました。この状況を苦虫を噛み潰す思いで見ている国があることでしょうか、私は世界の覇権が大きく変化し始めたと考えます。この微妙な変化に日本のリーダーも気づいてもらいたいものです。

NYダウ・上海総合・日経平均・ドイツDAX指数の比較チャート

2022年1月初日を100として



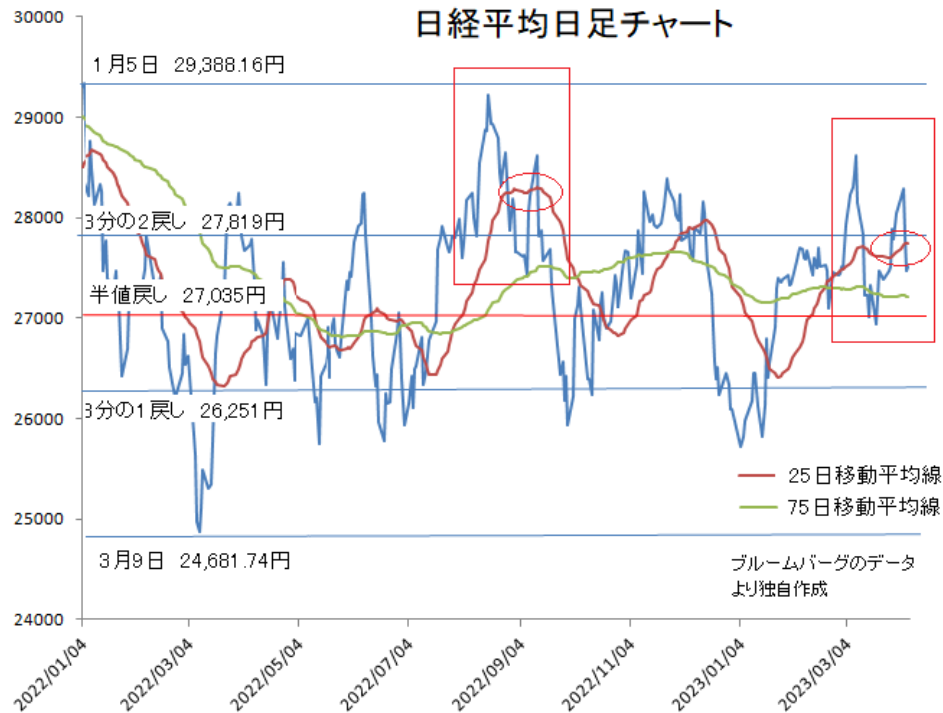
➤ チャート分析

今週の日経平均は 523 円安と、3 週間ぶりに下落しました。先週「再度 25 日移動平均線を上回り、3 分の 2 戻しの水準も上回ってきたので、上昇トレンドに戻った可能性が高い」と書きましたが、今週は一転下落。改めて今回の動きを見ると、昨年 8 月の天井打ちから下落し、一旦戻るが再度さらに下落したパターン（赤枠）に似てきました。ただ当時と違い今回は、25 日線（赤丸枠）が上向きになっていることから、昨年のパターンにはならず、再度上昇していく可能性も十分あります。



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
 〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会



冒頭のデータでは「来週は下落する」ということになっていますし、チャートの形としては昨年8月からの下落トレンドに似ていますが、トレンド的にはまだ上昇局面にあるということで、私自身来週の日経平均の動きが判断できない状況です。ただ週末に発表された米雇用統計を見る限り、米国の利上げ局面はしばらく続き、そうであれば株式市場の上昇にも限界があると考えます。したがって仮に上昇したとしても、戻り売りというスタンスで挑むべきかと考えます。

- この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。

News 20230409-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会